



難波駅前で早朝宣伝

3・12大阪総行動は、3月12日(木)全労連回答指定日の翌日に宣伝行動に取り組みました。早朝は淀屋橋駅前と難波駅前の2か所で春闘宣伝を行い、建交労大阪は難波駅に集結しました。難波

駅では、建交労大阪から荻田書記長が弁士として訴えました。荻田書記長は、「建交労では、2月12日が全国一斉で要求提出を行い、交渉の最中です。建交労大阪では運輸産業で働くドライバーを多く組織しています。劣悪な労働条件にくわえて、命の危険を伴うことから若者からも敬遠される業種の一つで、人手不足が慢性化しています。そして、燃料高騰は運輸産業にとって死活問題です。

私たち建交労は、運輸業を魅力ある業種に変えていく為に、国交省や厚生労働省・経済産業省に

も要請行動に取り組んでいます。長年言い続けて少しは、前進しました。2026年1月から中小企業受諾取引適正化法、略して取適法が制定されました。運輸業の許可は5年更新、悪質な企業へは、許可更新されません。また、運送価格の協議を運輸企業から発注した企業へ申し入れがあれば、協議に応じなければならぬことも義務化されました。多重下請けを解消するために、2次下請けまでとすることにしています。努力義務になりました。不十分ではありますが、粘り強く言い続けることで変えることが出来たのです。労働組合の任務と役割を發揮する組織が存在するからではないでしょうか。声を上げ続けなければ、労働条件を変えることが出来ません。」と訴えました。その後、JR西日本本社前に移動し、建交労西日本鉄道本部の仲間の



みなさんと共に、抗議宣伝行動に合流しました。JR西日本本社前では、西日本鉄道本部の仲間から「3月10日が組合の回答指定日だと要求したにもかかわらず、JR西日本は無視して回答すらして来ない。まともな交渉が出来ていない。大企業であるJR西日本は、鉄道で働く労働者の物価高騰を上回る賃上げ回答せよ！」と抗議と現状報告がありました。また、大阪府本部から前村委員長、大阪労連から福岡議長が来賓あいさつがありました。抗議宣伝への参加者は、全体で24名が参加しました。午後からは、国際ビル前から大阪市役所前まで大阪労連に加盟する各組織が参加してデモ行進。

デモ行進後は、大阪市役所の向かえにある女神像前の参加者320名で決起集会を行い、その後、女神像前から西梅田公園まで2梯団でデモ行進。関西電力前では、「原発再稼働反対！自然エネルギーへの転換」と大きな声で訴えました。

大阪総行動で建交労大阪が奮闘！

建交労大阪府本部
機関紙
発行元 府本部
電話 06-4800-7115



全国トラック部会全国ついで宣伝行動

建交労全国トラック部会が呼びかけた宣伝行動は、東京・愛知・京都・大阪・兵庫・福岡などで一斉に取り組みました。大阪では、早朝に吹田サービスエリアにおいて、トラックドライバーの労働環境を調査するアンケート集約と宣伝ビラ・ポールペン・タオルをセッ



寝屋川トラックステーション

トにして配布しました。アンケートに回答していただいた方で長距離ドライバーの方、すべてが車内ベッドでの休憩・休息だということが分かりました。また、2024年問題で労働時間が減少したと回答した方は、月々の月額賃金が5万円〜6万円減少したと回答。今、運輸業で望むことはという問いには、「賃金をアップしてほしい。駐車スペースが少なすぎる

ので増やしてほしい。休みがもっとほしい。」などでした。近年はトラックドライバーの運送価格や労働環境も以前にくらべると良くなってきたいますが、まだまだ、若者からも魅力ある業種でないことを痛感しました。建交労大阪の参加者は、関西合同支部3名、此花支部1名、関西支部1名、大阪合同支部1名、大阪府本部役員2名の全体8名が参加しました。

第97回大阪メーデーは、5月1日(金)

扇町公園で午前9時30分開会